

伊保地区支え合いづくり

ニュース 2号

令和2年1月

伊保地区支え合いづくり協議会

会長 斎藤 保

事務局：高砂市地域包括支援センター

生活支援コーディネーター 岡田

電話 079-443-3723

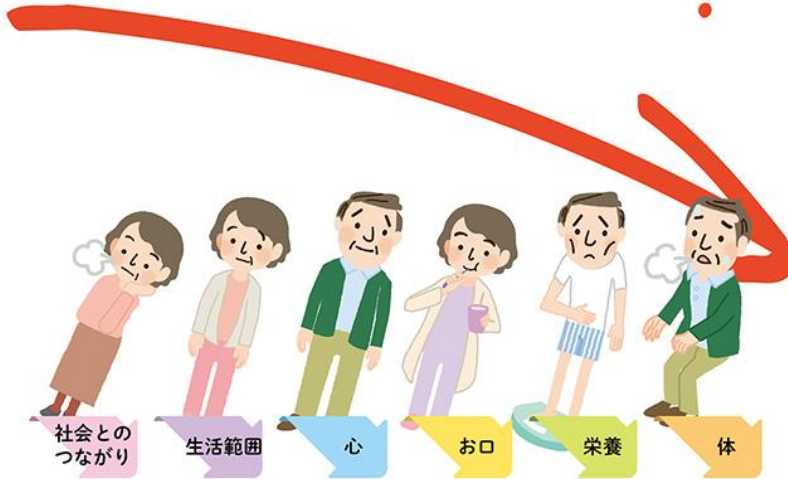
12月14日

市主催の研修・交流会に参加しました！



伊保地区支え合いづくり協議会の役員で高砂市介護予防・生活支援体制整備協議会の研修・交流会（各地区から34名参加）に参加しました。

ドミノ倒しにならないように！



(東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢：作図改編)

東京大学 高齢社会総合研究機構・飯島勝矢ら
厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)「虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究」(H26年度報告書より)

研修会では、県社協の荻田部長から「これからの地域の支え合いづくり」で高齢者の外出・社会参加の重要性の説明がありました。

参加者で5グループに分かれてワークショップを行いました。今回は、地区協議会間の交流、地区協議会と協議会未設置地域団体間の意見交換を行いました。

地区支え合いづくり協議会があ

る地区でも「取り組みは試行錯誤」「地区のお宝探しを行った。」「家から出たくなる仕掛けが必要」「コメン活用への働きかけ」などの意見が出ました。

未設置地域の方からは、「新たなサロンづくりが必要？」などの意見が出ました。

伊保地区支え合いづくり協議会では、研修会・学習会を企画しながら、通いの場の開設への働きかけや支え合いの拡大に向けて取り組みます。

ご協力をお願いします。



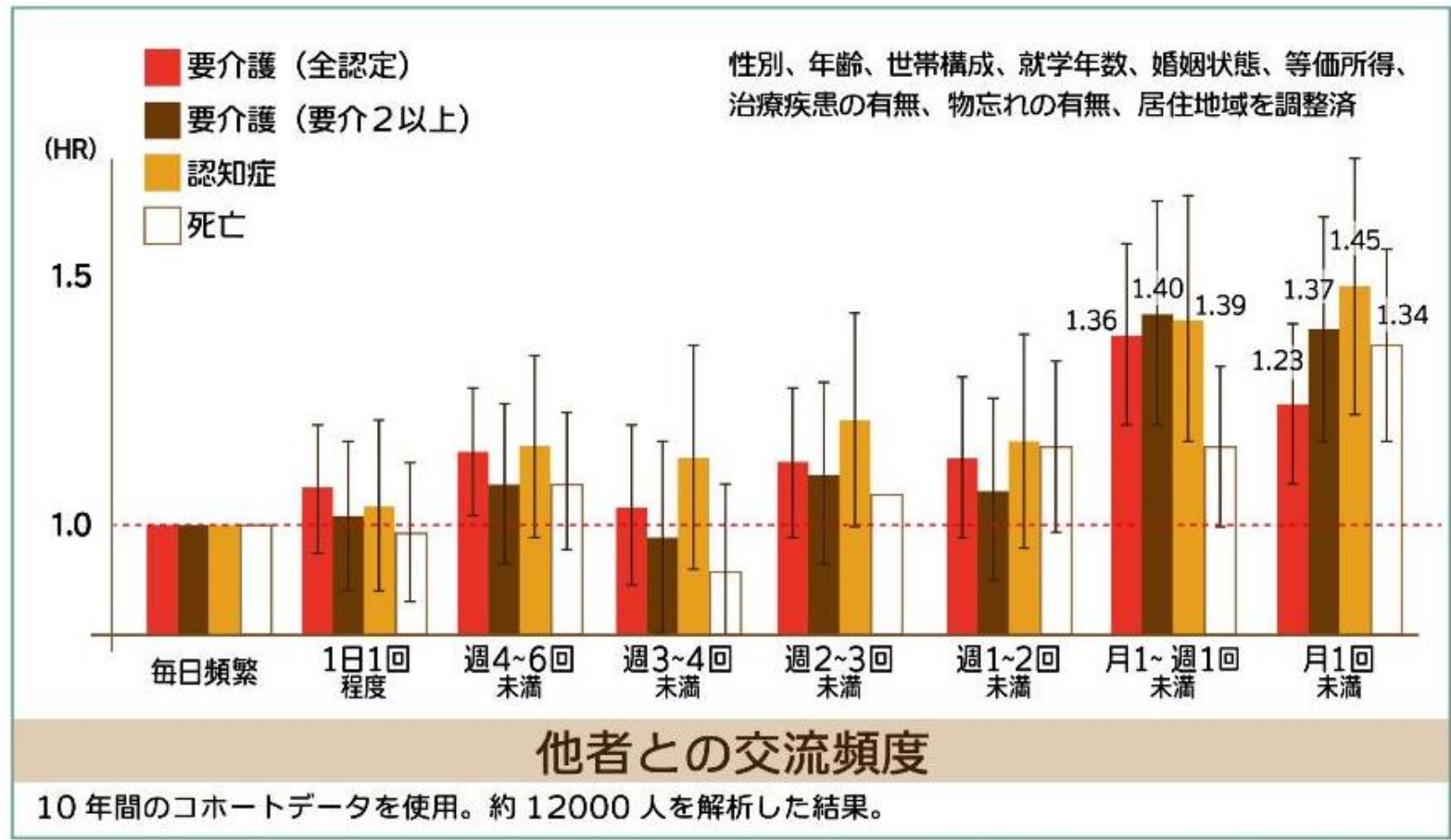
研修会風景

伊保地区支え合いづくり協議会の参加団体

- 地区福祉推進委員会
- 地区連合自治会
- 地区民生委員・児童委員会
- 地区老人クラブ連合会

通いの場の開催場所やサポーターを募集しています。
生活支援コーディネーターまでご連絡ください。

人との交流は週1回未満から健康リスクに
～月1回未満では1.3倍、早期死亡に至りやすい～



斉藤雅茂・近藤克則・尾島俊之ほか（2015）日本公衆衛生雑誌，62（3）より

